

授業科目名	数学入門(2100712)		
時間割名	数学入門(11103)		
時間割担当	根岸章		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	月・1		

授業の目標・概要

中学・高等学校では、数学の非常に広範な分野の基礎を学ぶ。この科目はこれらの内容が日常生活の諸問題とどのように結びつくか、今後大学で学んでいく数学のそれぞれの科目とどのような関係があるかを問題を具体的に解きつつ概説する。

学習の到達目標

高校までの数学の内容を理解する。日常生活の問題を数学の問題としてとらえることができる。大学でどのような数学を学ぶかを知る。

授業方法・形式

主として、講義形式で授業を行うが、授業中の課題や学生への問いかけによって理解度の確認をしつつ、授業への集中を促す。第4回、第8回、第13回に小テストを実施する。

授業計画

- 第1回 数の集合
- 第2回 文字式と方程式
- 第3回 整数の性質
- 第4回 数列
- 第5回 平面図形の性質
- 第6回 図形と計量
- 第7回 図形の方程式
- 第8回 ベクトル
- 第9回 関数
- 第10回 初等関数
- 第11回 関数の極限
- 第12回 微分
- 第13回 積分
- 第14回 資料の整理
- 第15回 確率

成績評価の基準

普段の授業態度(課題提出を含む)20%、小テスト30%、定期試験50%

準備学習・復習及び授

中学・高校の学習指導要領と数学の教科書を読み、どのような内容があったのかを把握しておく。復習として、授業中の課題を復習するとともに、その時間に関連した中学・高校の数学の内容を確認しておく。

履修上のアドバイス及

数学の問題を解くことが目的ではなく、高校数学と大学数学の橋渡しをするための科目である。数学専修の学生はなるべく受講すること。

教材・教科書

プリントを配布。

参考書

文部科学省：中学校学習指導要領解説(数学編)、同：高等学校学習指導要領解説数学編理数編